



分館

Schedule 展覧会スケジュール

再興第100回院展

4月8日(金)～5月8日(日)

明治31(1898)年、岡倉天心の指導理念のもとに結成された日本美術院。今回で再興100回記念となる本展では、同人や受賞者の作品など約70点の大作が日本画の神髄と現在を語る。関連イベントとして初日11時より同人による記念講演会、5月4日15時より本市出身の同人・井手康人によるギャラリートークを開催。



井手康人(四人) (白道) 2015年

北九州芸術劇場×北九州市立美術館 Vol.4 演劇:モネ、逆さまの睡蓮

5月19日(木)～22日(日) 全8公演

美術館で演劇と作品鑑賞を同時に楽しむ、好評のコラボ企画。当館が所蔵する絵画1点をモチーフに演劇作品を製作する。今回は、美術館分館展示室を会場に、印象派の画家クロード・モネの大作『睡蓮、柳の反射』に焦点を当てた演劇を上演。観劇のあとには実作品を前に学芸員による作品解説を行うなど、コラボ企画ならではの特別な時間を提供する。

※要「日時指定券」購入



クロード・モネ (睡蓮、柳の反射) 1916-1919年 当館蔵

もうひとつの輝き 最後の印象派 1900-20's Paris

6月4日(土)～7月18日(月・祝)

20世紀初頭に活躍した「画家彫刻家新協会(ソシエテ・ヌーヴェル)」の画家たちを、日本で初めて本格的に紹介する展覧会。印象主義を継承しつつ、新印象主義や象徴主義にも影響を受けて、身近な風景や人物を豊かな詩情を込めて親しみ深く描いたアマーン・ジャン、マルタン、ル・シダネルらパリの画家たちの作品約80点により彼らの足跡をたどる。



アン・ル・シダネル (日曜日) 1898年 © Douai, Musée de la Chartreuse - Photographie: Hugo Maertens

日本語版刊行15周年 リサとガスバール展

8月6日(土)～9月25日(日)

イヌでもウサギでもない不思議なパリの住人。フランスで発売され、今では世界中で愛される絵本『リサとガスバール』シリーズ。初期の作品から代表作、また日本未発表の最新作を含む絵本原画を中心に、ラフスケッチや立体、映像資料(作家インタビュー)など、多彩な資料が満載。あらためて作者ゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマンの絵本世界の魅力に迫る。

本展のための新作原画「リサとガスバール@TOKYO STATION」 © 2015 Anne Gutman & Georg Hallensleben / Hachette Livre



九州古陶磁の魅力 田中丸コレクション展

10月8日(土)～11月3日(木・祝)

九州の老舗百貨店・玉屋の経営者であった田中丸善八氏(1894-1973)が蒐集した古陶磁コレクション。古唐津、高取、上野、伊万里、鍋島、柿右衛門、薩摩など、九州陶磁の主要な窯をほぼ網羅し、それぞれの窯の特質を示す優品は、長く愛好家や研究者の間で高く評価されてきた。かつて小倉玉屋があったゆかりの地(現在のリバーウォーク北九州)に、善八氏が愛した名品の数々が集結する。



色絵華東花蝶文皿(尺皿) 17世紀末～18世紀初頭

見立ての手法 —岡崎和郎 Who's Who—

11月19日(土)～1月15日(日)

本展における「Who's Who」(人名録)とは、歴史上あるいは同時代の人物(やその作品)に対し、彫刻家・岡崎和郎(1930-)が「本筋取り」を意識し制作した一連の作品群。岡崎の代表作が、対となるヨーゼフ・ボイス、ブランクーシ、デュシャン、マン・レイ、ジャコモッティ、ジャスパー・ジョーンズ、葛飾北斎、宮本武蔵ら古今東西の名作と並び、「見立て」の魅力に迫る。



岡崎和郎 (P.M. ボール) 2005年 個人蔵

特別展 高倉健

1月23日(月)～2月26日(日)

幅広い人々に愛された本市ゆかりの映画俳優・高倉健の特別展。第1部では出演映画の映像、ポスター、写真などを展示し映画俳優としての歩みを再現。第2部では本人が愛用した品々を横尾忠則のアートディレクションにより空間展示を行い、新たな「高倉健」像を表現する。



高倉健

本館・本館市民ギャラリー(アネックス)は大規模修繕工事のため休館しています。リニューアルオープンは2017(平成29)年11月の予定です。

北九州市立美術館 Kitakyushu Municipal Museum of Art

北九州市立美術館分館 KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY

市民の生活に 潤いと心の豊かさを創出し、 地域とともに 成長していく美術館

1974年、北九州市立美術館は市のほぼ中央に位置するランドマークとして誕生しました。丘の頂上に2本の筒(チューブ)が突き出た独特な外観、左右対称(シンメトリー)が徹底されたエントランス。のちにポストモダン建築で知られる建築家磯崎新が手がけた初期代表作のひとつです。開館以来、多彩な展覧会企画を展開するとともに、1987年には本館に接続するアネックス棟を開設。国内外の近現代美術を象徴する多角的なコレクションをめざし、ルノワール、ドガ、モネなどの印象派、江戸から明治にかけての浮世絵、タブローや版画を中心とする20世紀美術、西日本地域を中心とする地元作家作品を体系的に収集してきました。また、2003年には、複合施設リバーウォーク北九州内に分館を、2013年には、コムシティ内に黒崎市民ギャラリーを開設し、新たな展開を行っています。

本館・本館市民ギャラリー

Access Guide

交通アクセス

北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町 21-1
TEL. 093-882-7777 FAX. 093-861-0959

※本館・本館市民ギャラリー(アネックス)は大規模修繕工事のため休館しています。
リニューアルオープンは2017(平成29)年11月の予定です。

北九州市立美術館分館

KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY

〒803-0812 北九州市小倉北区室町 1-1-1 リバーウォーク北九州5階
TEL. 093-562-3215 FAX. 093-562-3306

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

Kitakyushu Municipal Museum of Art Kurosaki Community Gallery

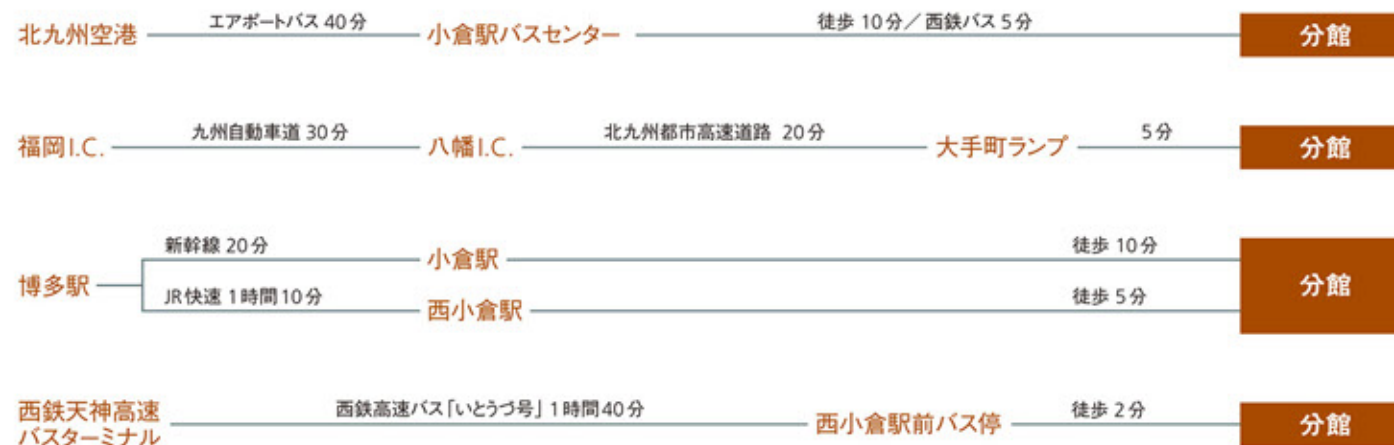
〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階(JR黒崎駅ビル横)
TEL. 093-644-5206 FAX. 093-644-5207



<http://www.kmma.jp>



北九州市立美術館(分館)までのご案内



Riverwalk Gallery

北九州市立美術館 分館

開館時間 10:00~20:00 (入場 19:30まで)
※展覧会によって異なる場合があります

休館日 年末年始及び館内整理日

観覧料 展覧会によって異なります。

駐車場 リバーウォーク駐車場: 30分毎に150円

交通案内

○西鉄バス 「小倉駅バスセンター」から45番・110番・134番・138番に乗車、「室町・リバーウォーク」で下車。
・「福岡天神バスセンター」から高速バス「いとうづ号」(小倉方面行き)に乗車、「西小倉駅前」で下車(所要1時間40分、約30分おき発車)。

○JR JR小倉駅(在来線・新幹線)より 徒歩10分
JR西小倉駅より 徒歩5分

○モノレール 平和通駅から徒歩7分

○車 北九州都市高速道路・小倉駅北ランプより 車で5分
北九州都市高速道路・大手町ランプより 車で5分

周辺MAP



Information

ご案内

美術館友の会

■会員の特典 **観覧料の無料・割引**
コレクション展: 全会員無料
企画展: 一般・ペア会員は当日料金の半額
特別会員(個人・法人)は無料

※特別会員(法人)は、同伴の法人会員1名も無料
※下関市立美術館の展覧会も同じ条件で観覧可能
※北九州市自然史・歴史博物館、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館の常設展が団体料金で観覧可能

友の会会報や展覧会案内など送付

展覧会図録を10%割引
※一部商品除く
その他にも特典あり。詳細は友の会事務局まで。

■会費 **一般会員: 2,000円**
ペア会員: 3,600円
特別会員(個人): 10,000円
特別会員(法人): 30,000円

■お問合せ先 北九州市立美術館 友の会事務局
TEL. 093-882-7777
FAX. 093-861-0959



北九州市立美術館分館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

北九州市立美術館

展覧会スケジュール

2016.4 — 2017.3